

1・2

HIGASHI COMPASS

2025年  
2月14日

junior high school

## おにぎり問題

校長 林 武宏

『高校の授業の一環として稲刈りの体験授業があり、あなたはそれに同伴した指導者です。農家の高齢の御夫婦が、お礼にとおにぎりを握って持ってきてくれました。しかし多くの生徒は知らない人の握ったおにぎりは食べられないと、たくさん残してしまいました。これについてあなたはどうか考え、生徒や農家の方とどのように話しますか。1,000字以内にまとめなさい。』

これは、2019年度に公立大学の医学部で出題された小論文のテーマです。2020年度に予定されていた大学入試改革に向けて、正解のない問いに向き合う問題として、話題にもなりました。この問題に出会ったときに、皆さんはどんな解答を思い浮かべるでしょうか。「同伴した指導者として」という条件のもと、食べた生徒と食べなかった生徒が混在する中で、生徒たちに何を話すか。そして、農家の方にはどんなことを話すのか。簡単に答えの出る問題ではなさそうです。さらに実際には、医学部の入試であるという大前提もあるわけですから、このテーマに向き合った受験生には「医師」として求められる思考も問われているのだ、という条件も加わった入試であったわけです。大変難しい試験であったと思いますし、採点する側も判断が難しかったことと思います。

そして、このおにぎり問題をもとに、昨年度入試で「集団討論」を行った都立高校がありました。討論のテーマは、『この問題について、その出題の意図も踏まえ、自由に討論してください。』というものです。大学入試の問題にさらに「出題の意図も踏まえ」という条件を加え難易度を上げて、中学3年生に問うたわけです。中学生に対して大学入試レベル、あるいはそれ以上のメタ的な視点を求める、現代の入試の厳しさを物語るようなテーマだと思います。

大学入試で求められるものが知識・技能だけではなく、思考力や表現力、協働性や多様性へと変われば、当然それに合わせて高校、中学校の入試も変容します。今の時代は、小学生から高校生まで、こうした正解のない問題に挑み続けることを求められる大変な時代を生きています。現在、各学種で入試が続いていますが、全ての受験生がその努力を出し切れるよう、心から応援しています。

さて、冒頭の問題。実は、教育現場では往々にこうした場面に直面します。校外学習先での宿舎や地域の方から、ご厚意で予定にない「旬のもの」を子どもたちに提供いただくようなケースです。そうした場面で、本校では基本的に、すべて生徒に提供される前にお断りする方針をとっています。食物アレルギーへの対応や、万全な衛生管理が担保できない以上、生徒の安全を最優先に守らなければならないからです。提供前の安全確認という観点で、冒頭の問題のような場面は本校では起こらない、というのは私の感想です。正解のない問題に教員も直面することの多い学校現場ではありますが、生徒の安全というのは「絶対的な正解」であるのだと思います。



# トーハク探究ビジット

「トーハク探究ビジット」とは、本学園と東京国立博物館とのパートナーシップ協定によって生まれた新たな取り組みです。多くの国宝、重要文化財が収蔵、展示されている東京国立博物館を訪ね、本物の歴史的・美術的展示物に触れることで新たな刺激を受けて欲しいと考えています。昨年末は東博から出張授業にお越しいただき、1年生を対象に事前学習を行いました。今回の訪問では、AB組は班別、CDE組はクラスごとに見学しましたが、出張授業や事前学習を通して見たいものを決めてあったこともあり、興味深く見学している様子が印象的でした。また、多くの体験コーナーがあり、浮世絵のポストカード作成や、よろいを持ち上げてその重さに触れる体験などを通して意欲的に学ぶことができました。CDE組の生徒達も一般の授業で学んだ「銅鐸」等を実際に見たり、お土産コーナーでは体験実習での買い物の経験を活かしながら、それぞれお土産を購入したりしています。生徒達からは「社会の授業でも扱った金剛力士像を実際に見ることができました。本館のエントランスにある大階段はドラマなどでも見ていたので、行けて良かったです。」「東洋館では、ミイラを見ることができました。最初少しだけ怖かったです。」「刀剣や弓矢などの武器やかぶとなど、武士に関連するものが多く置かれていました。日本の文化の流れを勉強した内容と合わせて知ることができました。」など充実した感想が寄せられています。来年度からは各学年、1年に1回ずつの訪問を予定しています。このような体験が、今後の学びの意欲に繋がっていくことを願っています。





# 第43回 発表会特集！

いよいよ発表会です。それぞれの演目において、この大舞台で最大限に力を出し切れるよう、生徒一人ひとりがこれまで練習を重ねてきました。当日は自信に満ちた姿で、演技・演奏を披露することと期待しています。以下、体育科と音楽科の先生からの発表会に向けたコメントです。

## ★体育「Rising」1・2年生CDE組男子

1年生は竹棒、2年生は鳴子を使って「祭り」をコンセプトに演技をします。今年作品では曲調の変化に合わせて、演技そのものを変えていくことや、今までやったことのない難しい動き、ステップなどにも挑戦しています。竹棒、鳴子の他にも体育科の先生手作りの大道具も登場し、様々な角度から「祭り」を表現していきます。(丹治・盛川)

## ★体育「CONVERGE-収束-」1年生AB組 武道選択

1年生は空手や合気道の素手の型で演技を創作、構成しました。様々な方向やバラバラの動きが1つに合わさって「収束」する瞬間が見どころの1つです。テンポの速い曲ですが、型や動きの正確さ、静と動を意識して、力強く披露していきます。(盛川)

## ★体育「連蹴双動」2年生AB組 武道選択

2年生は空手や合気道の素手の型に加え、蹴りの型も多めに組み込んで演技を構成しています。演技の様々な場面に散りばめられた力強い蹴りの他に、タイトルの「双動」にある通り、中盤の2人組での動きが見どころです。今年2年生はあえて武具を使わず、身体一つで表現していきます。(盛川)

## ★ダンス「THIS IS MICHAEL」1・2年生AB組 ダンス選択、CDE組女子

本校が取り組んでいるダンスは「創作ダンス」です。選択者全員が作品のテーマを捉えて動きを作り、そのモチーフ、フレーズから作品が成り立っています。今年は「キング・オブ・ポップ」と称されるマイケル・ジャクソンの楽曲を使い、1年AB組は「I WANT YOU BACK」、2年AB組は「THRILLER」「SMOOTH CRIMINAL」「BLACK OR WHITE」を創作しました。57名が生き生きと表現するマイケル・ジャクソンの世界観をどうぞお楽しみください。(丹治)

## ◆音楽

### ♪「できっこないを やらなくちゃ」1~3年生CDE

サンボマスターがアツク歌い上げる本楽曲を、発表会のために書き下ろした合唱バージョンでお送りします。聴いて頂く皆さんに元気を届けられるような演奏を目指し、日々練習に取り組んでいます。(佐藤)

### ♪「君が君に歌う歌」1・2年生AB

2017年NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部の課題曲として書かれた曲です。高校生向けということで難易度は高いですが、生徒たちは熱意をもって練習しています。リリー・フランキー氏の書いた素敵な言葉の一つひとつを丁寧に紡ぎ、皆さんにお届けします。(佐藤)



# 特別進学学習 Finish!!

3年生の高校受験は、残すところ、都立高校の一般入試のみとなりました。合格に向けて学校全体で応援をしているところです。これまで、週3回の特別進学学習（4～1月）62回、合計124時間、夏期講習（7・8月）59.5時間を経験してきました。グループごとに分かれての学習は生徒たちにとって充実した時間となっています。これまで取り組んできた生徒の感想を紹介します。

- ・特進のグループの仲間で解き方を話し合い、自分の理解をより深めることができたと思う。少人数で学べるので質問しやすかった。
- ・友達と協力して分からない問題を教え合うことで、お互いを高め合うことができたと思います。特に過去問演習が始まると、徐々に実力がついていくことが実感できました。
- ・最初のころは6時間も授業を受けた後に特進があることが嫌だったけど、だんだんと特進が楽しみになりました。少人数なので先生に細かく教えてもらえて嬉しかったです。
- ・学校の友達と学ぶからこそ、お互いを高め合って勉強できたと思います。
- ・友達と解法をめぐって議論したときなど、特進では多くの場面で刺激をもらい、成長できる環境で、とても楽しかったです。
- ・自分の考えていることを言葉にしたり、逆に相手の考えを聞いたり、問題と向き合う有意義な時間をおくることができたと思います。苦手だった英語も一から文法の振り返りをしたので、力を伸ばすことができました。



## 高校受験について

高校入試のすべての結果が出るのは、3月上旬になります。生徒たちが努力を積み重ねた結果の集大成ともいえる高校受験。長い間頑張り抜いてきた生徒たちをたたえ、学校全体が一人ひとりに「おめでとう」と述べたいその気持ちから、受験が終了すると毎年、生徒向けに中学校では合格校の貼り出しを行っています。3年生は、後輩たちや先生から祝福を受けて、自分の努力が認められたことを実感し、4月からの高校生活に自信と誇りを持つことができます。

1年生や2年生も、受験に向けて努力している3年生の姿やその成果を目にし、刺激を受けて、日々の学習や今後の受験に対する意識を高めていくこととなります。後輩が先輩にならう伝統がここにあり、現3年生も先輩たちの努力を知り、その道筋をたどってきたこととなります。また同時にこういったことが、教育の本質を見据えながら実績を伴わせる武蔵野東中学校の教育を、より確かなものとしてきました。

保護者の皆様におかれましては、高校受験の経験が人間を大きく成長させる機会とする本校の教育方針にご理解をいただき、今後も生徒が成長する姿を見守ってくださいますようお願いいたします。特に3年生の受験生の保護者の皆様には、残りの都立一般入試を控え、ご家族の体調管理など目に見えぬところでのサポートやご苦勞もあろうかと思ひます。学校でも生徒たちが試練を乗り越え、胸をはって3月の卒業の時を迎えるまで力強く支えていきますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



**2025年度 祝 小金井市体育協会スポーツ表彰**

小金井市体育協会から2025年度スポーツ分野で活躍した選手に贈られる表彰がありました。小金井市総合体育館で表彰式が行われ、3つの部活の代表が参加し、特別奨励賞、奨励賞として賞状と盾を頂きました。

- 特別奨励賞 ★陸上競技部 越智さん(東京都大会 優勝) ★体操競技部 大久保さん(東京都大会 優勝)
- 奨励賞 ★陸上競技部 4×100mリレー 清水さん・鈴木さん・山本さん・長谷川さん(東京都私学大会優勝)
- ★陸上競技部 東京都私学大会女子総合優勝 ★陸上競技部 円盤投 山本さん(東京都大会2位)
- ★陸上競技部 100m 鈴木さん(東京都大会2位) ★陸上競技部 走幅跳 島田さん(東京都大会3位)
- ★陸上競技部 走幅跳 長谷川さん(東京都大会3位) ★ダンス部 東京都大会2位
- ★体操競技部 男子団体(東京都大会3位) ★体操競技部 女子団体 (東京都大会3位)

**12～2月の部活動試合結果**

**卓球部**

- 東京都新人大会(個人)  
(1/13立川四中) 1年増田さん 1年小林千さん  
2回戦進出

**ダンス部**

- 第44回東京都中学校ダンス競技会新人大会  
(1/18 武蔵野総合体育館)  
既成作品「百花繚乱-魂のIBUKI-」 第5位入賞

**陸上競技部**

- 東京都中学ロードレース大会  
(1/25 昭和記念公園特設会場)  
2年中村さん 2,3年女子1km 3分48秒 4位入賞  
1年高野さん 1年女子1km 3分53秒 5位入賞

**バスケットボール部**

- 東京都私学対抗戦(女子)決勝トーナメント  
(1/11 東京電機大中) 対 日大二中 20-40負  
優秀選手賞 2年大島さん 対 電大中 32-23勝

**サッカー部**

- 府中市冬季研修大会  
予選リーグ(1/11 府中八中) 対 府中八中0-2負  
対 三鷹四・五中0-4負  
予選2次リーグ(1/18府中一中) 対 府中三中1-3負  
対 府中九中・明星中1-3負  
17位決定戦(1/24 府中一中) 対 府中四中6-0勝

